

Weather Company Data for Salesforce

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

この IBM Cloud Service for Weather Company Data for Salesforce (「クラウド・サービス」) では、お客様が「データ」を受け取ることを可能にするアプリケーション・プログラム・インターフェース (API) を使用します。「データ」とは、本 SD に記載されたとおり、「クラウド・サービス」により提供される、過去の気象データおよび予報される気象データ (予報、天気図、注意報・警報および図表を含みますが、これらに限定されません。) をいいます。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 Weather Company Data for Salesforce – Core

本パッケージには、以下の「データ」に対するアクセスが含まれます。

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
2 日間の時系列予報	現在から向こう 48 時間における 1 時間ごとの予報。	世界共通	JSON
日々の予報	日中と夜の区分に対して行う、今日から向こう 3 日間、5 日間、7 日間および 10 日間の予報。(期間が短いほど、少ないペイロードを返します。) この予報には、予報に関する説明の文字列 (最大 256 文字) が含まれ、場所に対する適切な計測単位を備え、要求された言語で表示されます。	世界共通	JSON
1 日の予報 (朝、昼、晩、深夜)	朝、昼、晩、深夜の区分に対して行う、今日から向こう 3 日間、5 日間、7 日間および 10 日間の予報。(期間が短いほど、少ないペイロードを返します。) この予報には、予報に関する説明の文字列 (最大 256 文字) が含まれ、場所に対する適切な計測単位を備え、要求された言語で表示されます。	世界共通	JSON
地点観測	アメリカの METAR と SYNOP の観測装置から集められる気象観測データ (気温、風向風速、湿度、気圧、露点温度、視程、紫外線指数)。それらに加えて Sensible Weather (天気) の表現や、それに対応したアイコン。	世界共通	JSON
過去 24 時間の観測データ	気象観測地点からの過去 24 時間の気象観測データ。	世界共通	JSON
気象警報 – ヘッドラインおよび詳細 (米国、カナダ、欧州)	要求された言語による、政府発行 (米国、カナダおよび欧州) の警報のヘッドラインおよび詳細。	米国、カナダ、欧州	JSON

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
ロケーション・マッピング・サービス	郵便番号、地域コード、市町村、国際国家、地域、特別区または都道府県に従って、場所を特定するためのユーティリティ API。	世界共通	JSON
日ごとの気象資料	日ごとの平均値や記録された気象状況	U.S.	JSON
月ごとの気象資料	月ごとの平均値や記録された気象状況	世界共通	JSON
実況および予報画像レイヤー	本レイヤーは、実況や予報データに基づくラスター画像をタイル表示した製品を揃えた一式を特徴としています。そして、お客様の背景地図にすぐに適用するパレットを使用して事前に作成された IBM の最も一般的なマッピング・レイヤーに対するアクセスを提供します。レイヤーは、XYZ タイル・アドレス指定スキーマに従ってアドレス指定され、事前にカットされた 256x256 png タイルとして提供されます。	世界共通	PNG
気象レーダーおよび衛星画像レイヤー	上記の「実況」および予報画像レイヤーと同様に、本レイヤーは、選択された気象レーダーおよび衛星画像のラスター製品を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ● レーダー・レイヤー - アラスカ ● レーダー・レイヤー - 米国本土 ● レーダー・レイヤー - ハワイ ● レーダー・レイヤー - レーダー - 北アメリカ ● レーダー・レイヤー - オーストラリア 	PNG

1.1.2 Weather Company Data for Salesforce – Enhanced

本パッケージには、以下の「データ」に対するアクセスが含まれます。

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
降水予報	Precipitation Events Forecast API は、向こう 7 時間に始まりと偏差を表した 28 回の降水現象の予報を提供する。(降水現象は、雨、雪、凍雨、着氷性の雨。)	世界共通	JSON
15 分予報	本 API は、向こう 7 時間の気象予報を 15 分ごとに返します。	世界共通	JSON
15 日間の時系列予報	現在から向こう 15 日間における時間単位の予報	世界共通	JSON

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
15 日間の予報 – グリッドおよびポリゴン	格子状に分割された「Forecast on Demand (オンデマンド予報)」を解像度 4-km で提供します。これには関連する「気温、風、および降水」のフィーチャーが含まれます。 グリッド: 通常 256x256 ピクセルのタイルにより、さまざまなズーム・レベルで、格子状に分割されたラスター・データを提供します。 ポリゴン: 気象の数値がしきい値を超える場所を示す、幾何学的なベクター・データ (線または多角形) を提供します。このデータにより、統計的な分析が容易になります。	世界共通	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
Currents on Demand (COD)	高解像度、高時間の最新状況。これらには、関連した気象表現や天気記号が含まれています。	世界共通	JSON
現況 – グリッドおよびポリゴン	格子状に分割された「Currents on Demand (オンデマンド実況)」を解像度 4-km で提供します。これには関連する「気温、風、および降水」のフィーチャーが含まれます。 グリッド: 通常 256x256 ピクセルのタイルにより、さまざまなズーム・レベルで、格子状に分割されたラスター・データを提供します。 ポリゴン: 気象の数値が特定のしきい値を超える場所を示す、幾何学的なベクター・データ (線または多角形) を提供します。このデータにより、統計的な分析が容易になります。	世界共通	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
時系列の環境ボックスを含む、パーソナル・ウェザー・ステーションの観測データ	パーソナル・ウェザー・ステーション (PWS) のグローバル・ネットワークには、20 万を超える観測地点のクラウドソーシングによるセンサー・ネットワークが含まれます。	世界共通	JSON

1.1.3 Weather Company Data for Salesforce – Severe Weather

本パッケージには、以下の「データ」に対するアクセスが含まれます。

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
停電指数	「停電指数」は、気象に起因する停電の可能性を示す指標を提供します。	世界共通	JSON
15 日間のトロピカル・ストーム予報	インド洋、北西太平洋、または北大西洋において、風速がしきい値を超える可能性を百分率で表示した最大確率。これは、12 時間ごとに更新される、解像度 80km の 15 日予報です。	西太平洋、大西洋	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
ストーム・レポート	強風やひょうなどの観測された荒天被害や積雪の深さを NWS Local Storm Report (LSR) 速報から構文解析したテキスト・レポート。	US	JSON

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
StrikeZone	30分単位の落雷強度予報	US	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
HailZone	30分単位のひょう害帯状予報	US	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
ShearVision	1時間単位の竜巻進路予想図	US	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
HailVision	30分、1時間、2時間、3時間、6時間、24時間単位の降ひょう現象予想図	US	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
RainVision	1時間、3時間、6時間、12時間、24時間単位の積算降雨量予想図	世界共通	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
SnowVision	1時間、3時間、6時間、12時間、24時間単位の積算降雪量予想図	世界共通	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON
IceVision	1時間、3時間、6時間、12時間、24時間単位の積算着氷量予想図	US	GeoJSON、SHP、KMZ、XZipped、MVT、JSON

1.1.4 Weather Company Data for Salesforce – History on Demand

本パッケージには、以下の「データ」に対するアクセスが含まれます。

フィーチャー	説明	対象	ファイル形式
History on Demand (HoD)	History on Demand では、2011年7月から現在までの期間にわたる包括的なデータ・セットが提供されます。本製品は、世界中を35平方キロメートルのグリッド上に設定し、地表面温度、風速、風向、相対湿度、気圧、および露点に関する時間単位の値が含まれます。世界共通	世界共通	CSV

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」) のほか、下記リンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」) にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様書に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=B908B4804A3F11E79342EA59690D4322>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

適用外。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。

本「クラウド・サービス」において、課金期間中に Salesforce クラウド・ベース製品へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の総数をカバーするのに十分な使用許諾を取得しなければならないものとします。

5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約(または同等のクラウド基本契約)については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 サービスの終了

お客様のサブスクリプションの満了または終了と同時に、お客様は、直ちに「データ」の使用をすべて中止し、すべての「データ」をお客様のシステムから速やかに削除するものとします。

5.2 利用に関する制限

- a. データは、Salesforce クラウド・ベース製品内でお客様の内部ビジネス目的でのみ使用できますが、マーケティングまたは広告に関するユース・ケースに関連する Salesforce クラウド・ベース製品と明示的に使用することはできません。具体的には、Salesforce Marketing Cloud または Salesforce Commerce Cloud を含みますが、これらに限定されません。
- b. お客様は、「データ」および「派生コンテンツ」を、テレビやラジオ放送(無線、有線、衛星放送など)、または、あらゆる方法や媒体を通したり、使用したりして配信されたサブスクリプション方式のストリーミング・サービス(Sling Television、Netflix、Hulu、Amazon Prime Video、HBO GO、またはラジオに相当するものなど)により提供される種類のオフラインの一部として使用しないものとします。
- c. お客様は、i) 商業上合理的な努力をもって、「データ」の部分がお客様のコンピューター・システム、製品または管理下(以下、「お客様による管理」といいます。)から収集または抽出されることを防止し、ii) 「お客様による管理」から「データ」が収集または抽出されたことが明らかになったか、またはその合理的な疑いが生じた場合は、速やかに IBM に通知するものとします。これを受けて両当事者は、誠実に協議し、将来においてかかる行為を防止するための商業上合理的な一連の措置を決定するべく努めるものとします。最初の通知から5営業日以内に、両当事者がかかる商業上合理的な一連の措置に合意することや、またはそれらを実施することができなかった場合は、IBM は、「お客様による管理」のもとにある「データ」を保護するために必要な措置が取られるまで、「データ」の提供を中止する権利を有します。

- d. お客様は、「データ」の使用により、またはそれに関連して収集された情報に対するお客様のアクセス、それらの使用、共有および保存に関連するプライバシー・ポリシーを公表し、これを遵守するものとします。
- e. お客様は、API ならびに関連する仕様および文書は IBM の機密情報であり、本 SD の条件に従わない使用および開示は認められないことに同意します。
- f. お客様は、IBM が、自己の裁量で、「データ」のスタイル、形式、または「データ」を随時変更したり、「データ」の部分を除外または中止したりできることを了承します。ただし、IBM は、「データ」の重大な変更に関して、同様の立場にある顧客に連絡する際には、連絡先にお客様を含めるものとします。

5.3 月間利用の上限

- a. API 使用

Weather Company Data for Salesforce – Core、Enhanced および Severe Weather はそれぞれ合計で月間最大 50 万 API 呼び出しをサポートしています。

- b. データ行の使用

History on Demand データ・サブスクリプションでは、許可ユーザーごとに 1 か月あたり 5,000 行のデータへのアクセスがサポートされます。行は「許可ユーザー」間で移転可能ですが、1 か月ごとに 1 つのお客様に許諾されている行の合計数は、許可ユーザーの数に 5,000 行を乗じた数を超えてはなりません。

- c. 利用の管理および監査

IBM は、利用について監査する権利を留保します。また、お客様がパッケージの制限を超過した場合は、利用制限を課すことができます。利用制限が強制的に実行された場合は、データ・ストリームの停止が生じることになります。お客様は、利用を監視および管理する責任を負います。お客様のアプリケーションで、規定されたパッケージの制限を超える月ごとの API 呼び出し、または月ごとのデータ行が必要になる場合は、IBM の営業担当者に連絡をしてください。月とは、標準的な米国の暦月をいいます。

5.4 データ・ソースの属性

「第三者が接するアプリケーション」で表示されるデータには属性が必要です。お客様は、API 文書に規定された API ごとの属性要件を遵守する必要があります。